



北海道新幹線開業による 青函地域経済への波及効果等と課題

平成28年 5月27日

八戸市

連携の取組み状況



青森県・函館
デスティネーションキャンペーン

青函圏観光都市会議

津軽海峡交流圏形成に
向けた取組み など

八戸圏域定住自立圏
(連携中枢都市圏)

三陸沿岸都市との連携

<青函圏での連携>

- 青函DCへの参画、おもてなし
- 青函周遊博の開催
- 津軽海峡交流圏連携フリーパス
キャンペーン「津軽海峡旅景色」

<八戸圏域>

- 八戸圏域定住自立圏
(連携中枢都市圏への移行)
- 八戸広域観光推進協議会
- スマートフォン旅行アプリ「YORIP」の開発
- まちあるきガイドマップの製作

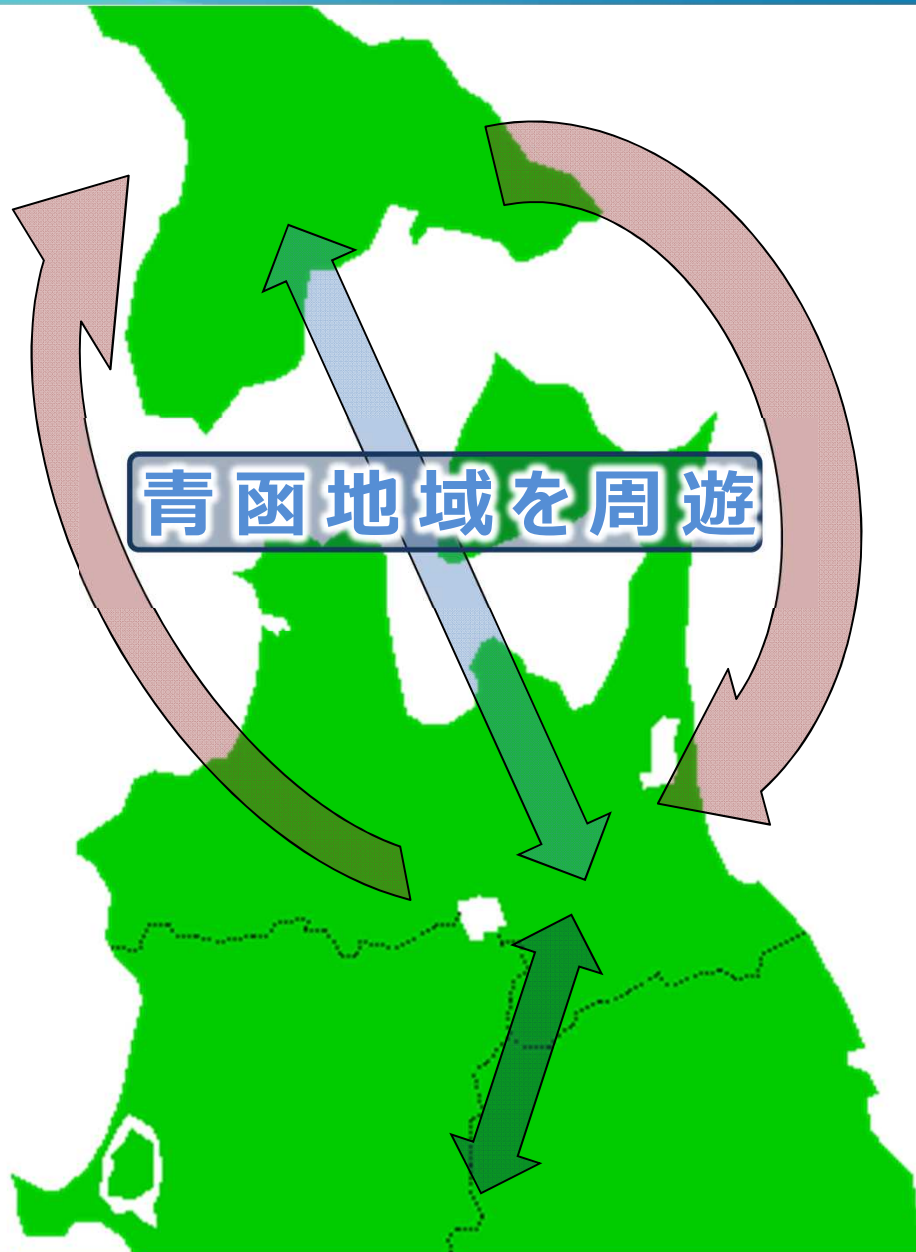
<三陸沿岸都市との連携>

- 三陸復興国立公園協会や三陸ジオパーク推進協議会との連携



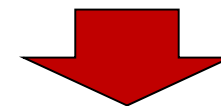
広域観光エリアを形成し、
魅力の増進により観光客
及び滞在を促進

北海道新幹線開業による経済波及効果



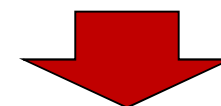
函館～八戸：およそ2時間

- 日帰り圏内となった
- 滞在時間が増える



北海道方面からの
観光客の増加

- 仙台～函館：およそ3時間
(仙台～八戸：およそ1時間15分)
- 東京～函館：およそ4時間30分
(東京～八戸：およそ3時間)



青森県を周遊する
プランの増加

今後の八戸市の課題

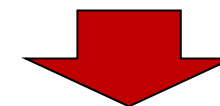


朝市



横丁

八戸市の魅力である、朝市、横丁を体験してもらうための魅力発信が一番の課題



- 青函DCを契機に八戸の魅力を知ってもらう
- 各都市との更なる連携を強化し、情報発信を行う